

青年部合同研修会を開催

高崎卸商社街(協) / 高崎地区運送事業(協)

12月13日、高崎市・ビエント高崎において、高崎卸商社街(協)の青年部組織である高崎問屋街青年経営者研究会と、高崎地区運送事業(協)青年経営者研究部会が「今あるものの価値を活かす～人口減少社会秋田からの挑戦～」と題し、合同研修会を開催した。講師は、株式会社kedama代表取締役の武田昌大氏。

武田氏は、自身が関わる農家一人一人と消費者を直接結び付けることで秋田の価値を広めるネット販売や、茅葺屋根の古民家を活用したコミュニティ「シェアビレッジ」について、取組みの経緯や考えを紹介した。

また、人が心を動かされるのは「差異」を感じたときで、認知度が低い田舎ほどビジネスとしてのポテンシャルを秘めていると持論を展開。さらに、差異は見せ方の工夫次第で価値として伝わると述べ、日本には呼び起こされるのを待っている資源が豊富にあると語った。



講師の武田氏

学習塾経営者に向けて教材展示会等を開催

群馬学習塾(協)

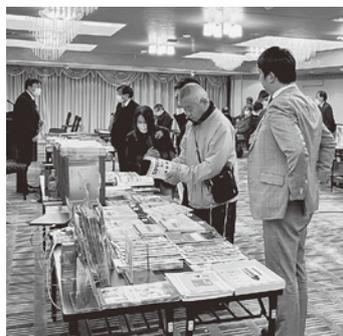
1月26日、前橋市・前橋商工会議所会館において「教材展示会」を開催した。

この催しは、学習塾専門の教材販売会社の協力を得て新刊教材を展示するもので、県下の中小学習塾経営者に、最新の教材情報を提供することを目的に毎年開催している。

今年は販売会社4社が出展し、新刊教材の展示に加え、教科書の改訂内容や塾の経営力向上についてのセミナーも行った。



セミナーの様子



教材を手にとる参加者

会場には組合員はもとより、組合員外の学習塾経営者も多数訪れ、教材を手にとる姿がみられた。

本イベントを通じて、組合をPRし、新規加入につなげたい考え。

AI活用の可能性を探る

群馬県茱萸原料商工業(協)

1月30日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、株式会社リスキルの下司(げし)智津恵氏を講師に招き、「ビジネス活用のためのAI基礎理解研修」をテーマに講習会を開催した。

下司氏は、AIの中核となる重要技術の「ベイズ統計」、「機械学習」、「深層学習」を説明した後、生成AIの特徴や注意点について詳しく解説した。



熱心に耳を傾ける受講者

生成AIは学習した内容をもとに文章や画像といった新しいコンテンツを作成することが可能だが、誤情報を選別できず誤った文章等を生成することもあると注意を促した。また、活用方法としては社内のルーチンワークをAIに代替させることが有効であると述べた。